

# 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局建設部道路計画

担当課長名：高松 泰

事業名	一般道道 北檜山大成線	事業区分	北海道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道瀬棚郡北檜山町字新成425番地 至：北海道久遠郡大成町字太田86番地			延長	9.6km
<b>事業概要</b>					
北檜山大成線は、北檜山町から大成町へ至る延長約3.4kmの道路である。このうち、延長9.6km開発道路に指定されている。本路線の整備により、北檜山町と大成町の海岸路線を形成し、物流効率化の促進、地域間交流の活性化、災害に伴う孤立地域の解消のほか、国道通行止め時における代替路線としての役割を果たす。					
S47年度事業化		S一年度都市計画決定		S47年度用地補償着手	
S49年度工事着手					
全体事業費	約280億円	事業進捗率	79%	引継ぎ延長	2.4km
計画交通量	1,650台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1  (残事業) 6.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 52/328億円 事業費：45/322億円 維持管理費：7/7億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 354/354億円 走行時間短縮便益：331/331億円 走行費用減少便益：19/19億円 交通事故減少便益：4/4億円	基準年 平成15年	
<b>感度分析の結果</b> 事業全体について感度分析を実施					
交通量変動：B/C=1.2(交通量+10%) B/C=0.9(交通量-10%)					
事業費変動：B/C=1.0(事業費+10%) B/C=1.1(事業費-10%)					
事業期間変動：B/C=0.8(事業期間+20%) B/C=1.1(事業期間-20%)					
<b>事業の効果等</b>					
・国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する）					
・物流効率化の促進（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる）					
他7項目に該当					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>					
北檜山大成線は、交通不能区間を解消し物流効率化の促進や地域間交流の活性化を促進する等、重要な役割を果たすことが期待されており、北檜山町や大成町をはじめとする関係10町の首長及び議会議員で構成される檜山総合開発期成会や北檜山町より早期整備の要望を受けている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>					
平成14年度には檜山北部広域連合が設立し、消防体制やゴミ収集など町界を越えた連携事業が進められている。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>					
平成15年度までに延長2.4kmを北海道へ引き継いでいる。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>					
引き続き用地買収及び現在施工中の北成トンネルなどの工事を促進し、平成18年頃の全線引継ぎを目指す。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b>					
トンネル発生土の現場内での有効活用を図る等コスト削減を図っている。					
対応方針 事業継続					
<b>対応方針決定の理由</b>					
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
<b>事業概要図</b>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。